

やすらぎ

平成 22 年 9 月 1 日
〔第 137 号〕発行 御所モラロジー事務所 発行責任者 吉田 実
〒639-2241 奈良県御所市茅原118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

神様との約束を実行へ 伊勢神宮祈願参拝

7月31日、船路で2名、富田で2名の参加者を乗せたマイクロバスが、至誠堂製菓の駐車場で残りの6名を乗せ、7時28分、伊勢神宮に向け出発した。車中、細川家成実行委員長は「参拝祈願といっても、神様にお願ひするのではなく、皆さんそれぞれがお誓ひをさせていただきに行くのである。例えば、今回のセミナーで私は初めての受講者を 名お誘ひをします、というように神様にお誓ひしてください」と挨拶されました。

京奈和自動車道を下りるころ、天理東～福住 6km 渋滞の表示があり、西名阪自動車道に行くのを止め、天理市内を東に進み福住インターから名阪自動車道、現在無料の伊勢自動車道を走り、10時15分下宮着。暑さが和らいで感じられる大きな樹木の中の参道を通って外宮のお参りをすませ、近鉄五十鈴川駅で遅れてきた1名を乗せ内宮へ。

夏休みのせい、参拝者、観光客で混雑する内宮は暑い暑い。先に冷房のよく効いた神楽殿でお神楽をあげてから、正殿を参拝。9月16、17日開催の生涯学習セミナーに向けて11人それぞれが期するところを神妙に天照大神様にお誓ひしました。



気がつけば空はどんより、雨粒がポツポツ。おかげ横丁で食事することに。うなぎ丼、ひつまぶし、てこね寿し、鳥ご膳とめいめい好きなものを注文。外は土砂降りの雨。食事が終る頃には雨も小降りになっていた。

13時40分、伊勢神宮を後に御所へ。お下がりのお神酒、かつお節、昆布、するめをバスの中でいただき、にぎやかなこと。16時30分無事、皆笑顔で御所に戻ってきました。

実行委員長の挨拶のように、天照大神様にお誓ひに行くのであれば、代表者だけが参拝するのでなく、お世話する者全員が参拝すると良いのでしょうか。私はお誘ひをいただき、参加させていただいて良かったと思います。

こめだ

セミナー事務所開き

8月2日(月)19:30から御所事務所にて、『第14回モラロジー生涯学習



セミナー事務所開き』が開催されました。

まず、国歌斉唱・誓いの言葉から始まり吉田代表世話人挨拶の後、細川家成実行委員長よりセミナーへの意気込みと役割の発表がありました。冒頭、7月31日(土)伊勢神宮へ11名のメンバーと共に参拝し、神様の前で「今回のセミナーは新規受講者200名の参加を目標にし、自分自身も30名をお誘いしよう」と決意して来ました」と話されました。

次に実行委員長としての考え方を話されました。

- ① 事務所全員がフルに力を出し切り、10月、11月の継続学習を経て12月の中日本センターへ同行受講が出来るように目標を立てて一歩ずつ実行を重ねて頂きたい。
- ② 報告・連絡・相談の徹底と危機管理を重点にセミナーを進めて行き、精神伝統に安心して頂けるように努めて頂きたい。
- ③ 一人でも多くの方々に、モラロジーの考え方を知って頂き、自分自身「何のためにモラロジーを勉強しているのか？」を問い、最高道德実行の肚づくりをして頂きたい。

「人心の開発救済(人様の心にやる気を起こさせること)をしない限り、運命の改善はできない」ことを再確認ください。セミナーの役割発表をして、「皆さんと共に心に残るセミナーをつくりあげたいと思います。共に頑張りましょう」と力強く決意を示されました。

引き続き近畿ブロック前田部長に「セ

ミナーについての心構え」のテーマで講話をして頂き、「セミナーの当日、誘った方に言葉をかけていないメンバーをみかけます。当日忙しいのはよくわかりますが、参加して下さった方と共に学ぶ。また心の行き届いた心づかいの実践を忘れないようにしてください」との言葉がとても印象的でした。また、「今年度から公益財団法人に変わりました。それに伴い活動や考え方を必要がある」としていくつかの事例を踏まえて説明して頂きました。

最後に前田部長は、「モラロジーのミッション(使命)は大きく分けて2つ。『世のため 人の



ため」人心の開発 親孝行(恩に報いる)伝統報恩この2つのミッションを常に忘れないように頑張ってください』と50分の講話を締め括られました。

21:00から第2部として講師を交えての懇親会を開き、セミナーや今後の活動についての意見交換を行い、セミナーに向けての有意義な時間を過ごすことが出来ました。

研修委員 細川成樹

伊勢神宮祈願参拝(外宮)



槇（まき）を生ける
女性クラブ華道教室



8月7日夜8時から、玉巻小夜先生のご指導のもと華道教室が開かれ、3名が槇の格花（かくばな）1名が盛花を生けました。お盆前のため、槇を使った格花と、槇と夏の花を使った盛り花に取り組みました。

持参の薄端（うすばた）や劔山（けんざん）に生けるのですが、なかなか思うように出来ず先生のアドバイスを受けながら生けました。やはり、格花はすっきりしていて良いし、盛り花は豪華に生けることができました。みなさんの作品を見せてもらい、良いお手本になりました。

余談ですが高野槇は親王殿下「悠仁さま」のお印です。全国的に高野槇が有名になりました。

杉村

歩こう会 富士登山レポート

8月20日、私にとって初めての富士登山がスタートします。ワクワクドキドキの3日間ですが、とても楽しみな3日間でもあります。

御所事務所を予定通り朝7時に出発。途中御在所サービスエリア等で休憩をとり、東名高速岡崎で少々渋滞がありましたが、無事に御殿場インターを下り、コンビニで明日の昼食のおにぎりを買いました。富士須走口登山道に向けて、ふじあざみラインを、車を走ら

せました。標高2000mの地点にある5合目登山口には、にぎやかに土産物屋が並んでいました。私たち10人は登山口にある大山祇命を祭神とする古御岳神社に安全祈願をし、ミヤマハンノキなどの林の中を今回の登山基地である、長田山荘に向けて小一時間ほどの森林浴を楽しみました。

山荘ではカレー、牛丼などをいただき、明日の登山本番に向けてアルコールパワーも満タンにしたあと、標高2400mから仰ぎ見る夜空の星々、夏の大三角などを満喫し、眠りにつきました。

8月21日、先発隊の2名は真夜中の2時30分ごろに出発。後発隊の8名は山荘にて御来光を拝んだ後、山頂を目指して出発しま



した。7合目あたりまでは、高山植物や木々の緑、鳥のさえずりを聞きながら歩きましたが、本7合目あたりからは、ごつごつとした岩肌が姿をあらわし、登る私の足を傷めつけるようであります。このころより、山頂の鳥居を見ることができ、それを目指してと思うのですが、なかなか届かず、気は急くのですが、足が思うように動かず、酸素が薄いせいか体も重く感じられます。休憩をとりながら一歩ずつ自分のペースを守ることに集中して、登らせてもらいました。

山頂が近くなると、夥しい人の列で、やっとの思いで山頂に着くとそこでは皆、無事の登頂を喜んでおられました。私も、眼下に雲海を見ながら6時間ほどの登山でありましたが、足の疲労も、肩・腰の疲れも一度に吹き飛ばすようなすがすがしい心持(独坐大雄峰)で、久須志神社にて無事の登頂を報告し

ました。

その後、登山前より準備しておりましたハガキを出しに、お鉢巡りを逆回りに久須志岳、白山岳、剣ヶ峰、三島岳を通り、駒ヶ岳の日本で一番高い場所にある郵便局でハガキを出しました。

郵便局の横には、浅間大社奥宮があり、木の花昨夜姫の命様に御挨拶をし、続いて、朝日岳、伊豆岳を通り、成就岳付近で皆さんと合流し、お昼をいただきました。

富士山頂を満喫したのち、下山道から噂通りの砂走ルートを下りました。登りよりも下りに気をつけると言われる通り、気を抜くと尻もちをつく、足首を痛める等々ありそうだなあ、と思いながら下っておりましたところ、右ひざを痛め、7合目太陽館付近よりは、痛みとの闘いになりました。足をかばいながらの下山でありましたが、ゆっくり3時間ほどかけて無事に長田山荘にたどり着くことができました。

本日の山荘は、土曜日ということもあり、満室でたくさんの人で大いに賑わっており、



外は夕刻より夜中までひっきりなしに登山客が通ります。さすがは、天下の富士山と感心いたしました。本日の疲れもあり、9時ごろには全員休ませていただきました。

8月22日、早朝4時30分ごろに目が覚め、雲がかかる東の空を、雲が晴れ御来光を見ることができるとを願いながら眺めていました。すると、にわかに雲が晴れ、燦然と輝く御来光を見ることができました。

朝食に美味しいおにぎりとおみそ汁をいただき、6時30分ごろ下山を始めました。ム



ラサキモメンツルやアキノキリンソウなどの草花を楽しみながら、痛む右足をかばいながら、バック走行にて富士のお山に別れを告げながら5合目登山口まで降りました。古御岳神社に皆さんと参拝し、幸せな3日間に感謝申し上げます。

5合目駐車場から無料の東富士五湖道路を通り、河口湖をめぐり西湖の銭湯にて3日間の塵埃、汗をきれいに洗い流し、さっぱりとしたのち、湖畔の蕎麦屋でお豆腐とお蕎麦をいただきました。

甲府南インターより、中央高速道路を走り南アルプスを左に見ながら心地よいドライブを楽しみ、恵那峡サービスエリアにて虫養いをし、数年前にできた東海環状自動車道を走り、本日は日曜日でしたので、通行料は1000円でとても得をした気分になり、名阪伊賀インターにて夕食を大盤振る舞いでいただきました。その後、夜7時30分ごろに御所事務所に無事に到着いたしました。

出発前は、あれこれと思うことがありましたが、日本一の富士山に登らせてもらって、山岡鉄舟の言葉「晴れて良し 曇りて良し 不二の山 元の姿はかわらざりけり」を十分に実感させていただきました。

ふたかみ事務所 涌田 宗典

両佛山(しょうぶつやま)から峰山へ

7月19日、海の日、歩こう会は久方ぶりの山歩きとなった。東吉野村と川上村の境にある両佛山、ショウブツヤマと読む、に登り、峰山(ムネヤマ)を往復するというものである。参加は少し寂しく4人。

午前7時に事務所を出発。吉野町のコンビニで昼食を調達し、東吉野村、麦谷へ入っていく。麦谷川を遡行すること数キロ、ヘヤーピンカーブを廻って、稜線を行く。標高は1200m近い。

NTT 無線中継局ゲート前の広場に車を止め、9:00歩き出す。雲一つ無い快晴。すぐに瀬戸地蔵が祀られ、さて、登山道はどちら? 準備不足、下調べ無しで、「どうせ登っていくのだろ」と、右へバイケイそうの花の中を歩く。視界が開け千石山、赤倉山、白鬚岳などが一望。遠く大普賢岳が独特の山容を見せている。虫多し。小さなハエ、ハエ、ハエ。顔にまとわりつく。



30分ほどで両佛山、ショウブツヤマ1308m、続いてNTTの中継局の横を通り、両佛山西峰1310m。そこからの登山道が分からない。下りてみたり、更に別を探してみたりして、ガイドブックに「岩間を下り」とあるところが、中々見つけられず。10分余り、行き来する。更にガイドブックどおりでない、新しい林道がついていて迷い、急斜面を直登し、少しやばいところをトラバースする。やっと登山道に。

休憩のたびにこまめに、水やパンなどを、

ツアーガイド(9) 夏の休暇

6月30日、明日からはじまる夏休み休暇の前日、午前と午後を合わせて4時間バージョンのガイドを無事終了、身体と頭を徹底して働かせたあとの抜け殻を、机の上に寄りかけていた。

これも自分に対して、意義のある人生のために行っているのだと云い聞かせた。



少し食す。これは良い様。Hさんはいつもこれ。

11:30 大天狗岩、昼食は待ち切れずここで済ます。ハエが相変わらず、うるさく口や目に、耳に入ってくる。最高のハエ対策は、目だけ出して(めがね、ゴーグルなら更に良い)後はタオルなどで覆う(写真)がよい。

12:15 峰山山頂にたつ。視界は全く効かない。下の中奥部落のTVの協聴アンテナが立っている。ここで折り返し、2:30元に帰る。空はすっかり雲に覆われ、今にも降り出しそうに。

地図も下準備も不十分で、道を間違えたりした。しかし、秋の紅葉に来ると、全山カエデの山で、高低差も少なく、快適な山歩きが出来そう。

やはた温泉にニューヨーク(入浴)。帰路、空は真っ黒、やがて雨が降り出した。5:00過ぎ御所に帰ったが、こちらは雨は一滴も降った様子にはなかった。

万歩計は2万に足りなかったが、久しぶりの山歩きで、満足、満足。

とく

たわいない市井の人から、馬鹿だと云われる時こそ、最大に優越感をもよおす時は他にない。

柔軟性とは、一つの問題をいろいろな角度から考える力であろうと思ってきた。

独創性とは、過去の経験や知識をもとにして誰もが思いつかなかった新しい

ものと、発見していく能力なのだと思います。来て来た。

年老いて無為に過していかうとする自分に、かなりな抵抗を抱いた。

残されたわずかな人生のその時を、大切に生きたいとしていた。だから自分に柔軟性が、独創性が、まだ残存しているかと確かめて見て、今回の事業協会の要請に正直答えるように出発した。

そして今、夏にやって来たターニングポイントに於いて、静かに後を振り返り見て、その反省と次への希望を見つけようとしている。

人生は70歳をもって終えるものでないと思って来た。

7月1日奈良市大安寺西1丁目1000番地で終始黙読しながら心に沐浴をあげせかけた。次の日から自宅の書斎へと引き籠った。4日の日曜日、家業の仕事を8時に終えて、売上金を自宅の玄関先で妻に渡して、モラロジーの読書会に出た。

7月5日、晴天、同窓会で、同期だった50年来の友人とミーティングの日、

地下鉄の心齋橋駅から地上へと出て、大宝通りから、昔丸善石油ビルへとかよった途中にある大成閣で、友たちを待った。

最近たて続いて3人の友が死んでいった。取り残された彼ら3人も重病人から生還して、やっと立ち直ったのでお祝いをする為の会であった。久しぶりに4人は、彼たちに黙祷を奉げて、自分たちへは神の御恵みをと、冷たいビールで乾杯して楽しく話はずませた。

7月7日、妻との「初デート記念日」が巡って来た。45年目の慣例の日に朝の仕事早くきり上げて、後で知る319キロのデートの道程をどこかへと出掛けていった。

ツアーガイドの面々が夏の休暇をとっている間も、平城宮跡会場はあいかわらず盛況で、7月17日のテレビのニュースでは、150万人の入場者を突破したと報じていた。魚に河が見えないように、ただ家族と共に知る毎日を約束の歴史論文作りに苦闘していた。

積み重ねる苦心の作も4000文字の力作が終尾をむかえた。

Tomas

運営委員会報告

報告事項

1. 廣池理事長から敬老の日記念品が贈られ、事務所で手渡すか届けに行きます。喜寿祝(77歳)長寿杖で仲原朝子さんに、古希祝(70歳)遺墨で三並義明さん、松浦啓之さん、辻秀子さん、長谷川八重子さん、細川輝美さんに。
2. 生涯学習セミナー開催については細川実行委員長より、「お誘い」を中心に行動、他は実行委員長に一任し、報告、連絡相談はこまめに行う。
 - ・8月24日(火)受講推進係打ち合わせ、8月31日(火)責任者会議、9月4日(土)12日(日)スタッフ全体会議を行います。
 - ・9月18日(土)9:00から事務整理、9月22日(水)19:30から反省会、9月25日(土)伊勢神宮御礼参拝。
 - ・講師との会食を17日(金)に行います。参加希望者は会食係まで連絡すること。会費は2,000円。
3. 各クラブ・他
 - 教育者研究会が8月22日(日)奈良県社会

教育センターで開催され97名が参加しました。当事務所から12名の参加。

県女性クラブ講演会が9月12日(日)郡山講堂で開催されます。4名参加予定。

青年クラブは7月30日(金)10名で焼肉を行いました。8月20日(金)委員会を開催。セミナーの打ち合わせ、今後の予定等を話し合いました。

ビジネスクラブは9月21日(火)御所事務所に於いてビジネスクラブ研修会を行います。

審議事項

1. 維持員研修会を10月16日(土)、17日(日)事務所講堂で開催。17日(日)維持員全員参加、参加費2,000円。講師は柴田英輔氏(尼崎)。
2. 敬老キャンペーンニューモラル配布を9月20日(月)15:00または16:00から1時間、ライフ御所店前で行います。500部配布予定。